



第23回 都市水害に関するシンポジウム

開催日：令和6年11月29日（金）

近年、世界各地で台風・サイクロンや豪雨による洪水被害、異常高温による干ばつ・森林火災等の自然災害が毎年のように発生し、我が国においても、「平成30年7月豪雨」、「令和元年東日本台風」や「令和2年7月豪雨」をはじめ、毎年のように豪雨災害による被害が生じています。

今年も8月29日から9月1日に接近・上陸した台風10号により、西日本から東日本の幅広い地域で大雨や強風をもたらし、全・半壊50棟、床上・床下浸水1,350棟の家屋被害や多くの孤立集落が発生しました。さらに、複数の方がお亡くなりになり、自然災害への意識や備えが改めて重要視されることとなりました。また、強風も相まって、公共交通機関の計画運休も実施され、経済的にも大きな影響を与えました。

内閣府の防災情報ページに目を向けると『特集 水害に学ぶ 過去の水害からの教訓と、その後の取り組み』において、「水害および土砂災害から人的被害や孤立者を減らすためには、適切なタイミングで、的確に避難勧告等を発令・伝達することが重要です。今年1月に改定された「避難勧告等に関するガイドライン」にも記載されているように、市町村は「空振りを恐れず、躊躇なく避難勧告等を発令する」を基本とし、また、発令する際には、対象者ごと取るべき避難行動が分かるよう、繰り返し伝達することも求められます。」と注意喚起されています。

我が国では、従来型の総合治水から、あらゆる関係者が流域全体で取り組む協働型「流域治水」へと、政策の方針転換が進められています。流域治水では、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」等、ある程度の被害を受容した対策を進め、大雨・洪水予報精度の向上や住民の避難行動支援の高度化など、ソフト面での強化が図られているところです。

九州・山口地方は豪雨災害の頻発地として知られており、長年その実態解明について調査研究が実施され、貴重な研究成果が蓄積されてきています。これらの成果を地域社会に還元し、最新の自然災害科学の普及・啓蒙活動に努めることには大きな社会的意義が存在します。そうした責務の一端を担うために、土木学会西部支部では、1999、2003年福岡水害を契機として「都市水害に関するシンポジウム」を毎年開催し、研究者、実務家、技術者および防災士の方々が一堂に会して最新の知見について討議を行ってまいりました。

今回で23回目を迎える当シンポジウムでは、豪雨災害・気候変動における行政の取り組みや課題、水害ボランティア、洪水時の河川水位の予測技術など、学識者・行政・民間事業者それぞれのアプローチから、災害への対応について検討し、今後の防災・減災のあり方を探っていきます。奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 主催 (公社) 土木学会西部支部
- 2 後援 (一社) 九州地域づくり協会、(一社) 九州地方計画協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部、(公社) 日本技術士会九州本部
- 3 日時 令和6年11月29日（金） 13:00～16:40
- 4 開催方法 ハイブリッド方式 (①会場参加+②オンライン参加の2方法で実施)
①会場参加 会場：九州大学西新プラザ
(〒814-0002 福岡市早良区西新2-16-23 電話：092-831-8104)
アクセス：福岡空港、博多駅から地下鉄空港線「姪浜・唐津方面」行き乗車 15分～20分
「西新」駅下車、樋井川沿いに北へ徒歩約10分
詳しくは <https://nishi.jinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html>
②オンライン参加：「Zoom」による配信（事前登録制）
ミーティングIDとパスワードは参加登録後にご連絡いたします。
- 5 参加費 2,000円 (①会場参加、②オンライン参加 ともに参加費が必要です)

- 6 論文集 11月中旬に電子データをホームページ (<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/symposium/>) に掲載しますので、事前にダウンロードのうえご参加ください。
- 7 定員 ①会場参加：50名程度（申込先着順）
②オンライン参加：200名程度（申込先着順）
- 8 CPD 土木学会継続教育(CPD)認定プログラム（JSCE24-1173：3.4単位）
①会場参加：シンポジウム当日、終了直後に受講認定書を発行いたします。
②オンライン参加：CPD取得には、申込後にご案内するアンケート（Google Formを予定）への回答が必須となります。また、土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

9 プログラム

時間	テーマ	講演者ほか
13:00	開会挨拶	実行委員会 委員長 前田 義孝
13:10～14:00	2018年7月西日本豪雨による岡山県内の河川災害と課題解決に向けた研究	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学類 前野 詩朗、赤穂 良輔
14:00～14:50	水害に対する「災害ボランティア」からのアプローチ	熊本学園大学 藤本 延啓
14:50～15:00	～ 休憩 ～	
15:00～15:50	水害リスクラインによる連続的な水位予測と予測水位を用いた洪水予報の取り組み	(株)東京建設コンサルタント 九州支社河川本部 町田 佳隆 九州地方整備局河川部災害予報センター 田島 二仁
15:50～16:40	東京都における都市水害の対策について～気候変動を踏まえた取組～	東京都建設局河川部 土方 隆 計画課 青木 大輔 計画課 中井 隆亮
16:40頃	閉会挨拶	実行委員会 副委員長 森元賢哉

- 10 参加申込方法 (公社)土木学会西部支部ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/>) イベント情報（「第23回都市水害に関するシンポジウム」開催のご案内）から事前申込み（会場参加またはオンライン参加を選択）をお願いします。
- ※ 参加登録後、申込者全員に、開催前日までにZOOMのミーティングIDとパスワードをメールにてお知らせします。
- ※ 会場参加者は、申し込み後に届く自動返信メールを印刷のうえご持参ください。**参加費は11月26日(火曜)までに銀行振込で送金ください。**
銀行振込:西日本シティ銀行 赤坂門支店 普通 1134463 (公社)土木学会西部支部
(なお、参加費の返金は致しません。)

11 申込締切日 令和6年11月22日(金)

12 問合せ先 (公社)土木学会西部支部
〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4-12 シー・ティー・アイ福岡ビル1F
TEL:(092)717-6031, FAX:(092)717-6032, E-mail:<jsce-w@io.ocn.ne.jp>
詳細は土木学会西部支部ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/>) イベント情報の「第23回都市水害に関するシンポジウム」開催案内をご覧ください。